

# 防災キャンプ

宝塚23万人の防災キャンプ実行委員会

**宝塚23万人の防災キャンプ 3分動画**

# 防災キャンプがスタートしたきっかけ

- ・ 発起人は宝塚商工会議所青年部  
「花火が中止されたいま、子どもたちの思い出として、地域で取り組めるイベントは無いか？」
- ・ 都道府県の教育委員会を中心に過去5年間（当時）で全国延べ58回開催されていた防災キャンプに注目

(3) 学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ：文部科学省  
([mext.go.jp](http://mext.go.jp))

# 各地の防災キャンプ





「もし大きな災害がおきたらどうしたらいいの  
だろう...?」子どもも大人も一緒になって、  
学び・体験する場を企画しました。  
親子でぜひご参加ください。

**11月14日(土)**  
午後4時から  
**11月15日(日)**  
午前10時まで

場所: 横浜市野島青少年研修センター  
(横浜市金沢区野島町 24-2)  
人数: 親子参加 40人(先着順)  
対象: 金沢区に在住の小学生とその保護者  
料金: 1人 500円(夕食・朝食・保険代)

内容  
・段ボール等で寝るスペースづくり  
・炊飯袋を使つての食事作り  
・夜間の避難訓練 ・役立つ防災授業  
・身近なものを活用した応急手当 など  
※お風呂には入れません ※食事は皆で作ります

持物: 上履き  
※その他、避難所にもっていく物品を親子で  
考えて、当日自由にお持ちください。

申込方法  
10月15日(木)から電話・来所で  
お申込みください。

問合せ・申込  
(社福)横浜市金沢区社会福祉協議会  
住所 横浜市金沢区泥亀1丁目 21-5  
いきいきセンター金沢内  
電話 045-788-6080

## 親子de 防災キャンプ



これらの原のいみ  
わかるかな?

主催: 横浜市金沢区災害ボランティアネットワーク  
Facebook ページもあります  
後援: 金沢区役所

# 防災キャンプの目的・意義

- 1) 避難所生活を体験することで、子ども（家族）が非常時に自分で自分の命を守れるように、楽しく防災意識を高める機会を提供する。
  - 2) 避難所運営の現実的な問題点を共有する。
- ・宝塚23万人の防災キャンプ実行委員会  
宝塚商工会議所青年部、宝塚青年会議所、エフエム宝塚  
宝塚市社会福祉協議会、コープこうべ、宝塚市民の有志

# 防災キャンプのメリット

- ・ 日頃の防災訓練に来ない家族層の参加がある
- ・ 避難所体験（運営側と避難側）が出来る  
※避難所がどれだけ日常生活に適していないかが実感できる
- ・ 費用負担が少ない（受益者負担と協賛金）
- ・ 楽しく防災意識を高められる

# 防災キャンプ実現までの壁

- 1) 会場の選定（管理責任者の許可）
- 2) 事業計画の立案（スケジューリング）

※例年の事業をクリアするだけで手一杯

# 実行委員会の役割と思い

- ・ 取り組んでみたいが、何をどうやって進めれば良いか分からない主催団体を実務面でサポート
- ・ 避難所体験を通じて防災に関する意識を高め、そこで得られた経験を市内の学校や自治会等、市内全域に伝えていきたい。災害時に何より大切なものは「人と人との繋がり」。宝塚での暮らしを、心通う会話があふれ、お互いを思いやれる仲間が集まるまちにしたいです。